生の声届けて人材獲得

企業経営者 大学の教壇に

企業経営者が大学の教壇に立ち、学生に講義する授業が増えている。経営者が自らの経験を交えて業界動向や求める人材像などについて講義。学生に企業の生の声を届けることで、人材の獲得につなげる狙いだ。

就職後をイメージ

▼アステラス製薬の竹中登一会長は四月から、東京大学の薬学系研究科で大学院生や学部生などに週一回講義している。

アステラス製薬は今年度、同大に寄付講座「創薬理論科学」を設置した。寄付総額は五年間で二億五千万円で、竹中会長は客員教授として学生を前に熱弁を振るう。講義には毎回六十人以上が参加。竹中会長は「最初は四―五人しか参加しないと言われたが、学生の熱心さには驚いている」と話す。

講義では、製薬業界の再編劇や業界内でのアステラス製薬の位置づけ、業界が抱える課題などについて教える。創薬に携わった自身の体験をもとに、「製薬業界で画期的な新薬開発をする楽しさや魅力を何よりも伝えたい」。

製薬業界では、大学院を出て研究職で入社する社員も多い。アステラス製薬の場合、六千人の社員のうち、約一割が博士課程を修了している。ただ、「企業での研究は大学と違って将来性がなければ研究内容を変更する必要がある。特定の研究に関心を持つ研究員の場合は辞めてしまうこともある」（竹中会長）。

講義では、企業と大学での研究の違いや将来のキャリア形成などについても言及し、学生が就職後のイメージを持ちやすくしている。

茨城県つくば市に本社を置く食品スーパー、カスミの小浜裕正社長は、昨年から茨城大学の「地域連携論」と常磐大学の「地域産業論」の講義に参加している。国内外の小売業者の再編や消費者動向の変化に伴うカスミの業態転換などを講義。そのうえで、「変化に対応する意識を高めてほしい」などと、社会人に必要な心構えや接客業に求められる人材像などについても言及する。「自分の考えを学生に直接伝えられるいい機会」と小浜社長は語る。

横浜市立大学もオンワードホールディングスの馬場彰名誉会長らファッション業界の経営者が参加する講座を開設。信州大学も県内企業のトップが講義する特別講座を設けている。

雇用ミスマッチ防ぐ

▼経営者が自ら教壇に立つ機会が増えている背景には、人材の確保や育成に対する企業の関心が今まで以上に高まっている事情がある。

特に、ここ最近は企業業績が回復したことで新卒確保の競争が激化している。地方都市だけでなく、大都市でも採用に苦慮する企業が目立つ。一方、就職後三年以内の離職率は大卒で三割以上と高止まりしている。人材の確保と離職率の削減はどの企業にも共通する課題だ。

カスミで人事を統括する内田勉取締役は「トップが自ら語りかけることで説得力が増し、採用活動にもプラスになっている」と強調する。実際、今年の採用活動では、小浜社長の講義を受講した学生が複数応募したという。

離職率の高さについて、若者の就業意識の希薄化や企業側が求める人材と学生の資質が異なる「雇用のミスマッチ」を指摘する声が以前から多い。茨城大学の菊池龍三郎学長は「学生は労働に対するイメージが抽象的。実際に経営者から話を聞くことで、ミスマッチを埋めることができる」と語る。

茨城大学で小浜社長の講義を受講した二年生の男子学生は「まだ就職希望先を決めてはいないが、就職活動時の選択肢が広がりそう」と語る。学生の就業意識の向上に一役買っているといえそうだ。

経営者が講義する形態はさまざまだが、寄付講座として企業側が設置するケースが多い。文部科学省が調べた国立大学の寄付講座の数は二〇〇六年度で二百三十二と、過去三年間で倍増している。同省では、今後も寄付講座の数は増えるとみている。

一方、大学にとっても、経営者による講義はメリットが大きい。寄付講座であれば運営資金は企業が提供するうえ、他大学との違いを打ち出せるカリキュラムとして受験生にアピールできるからだ。

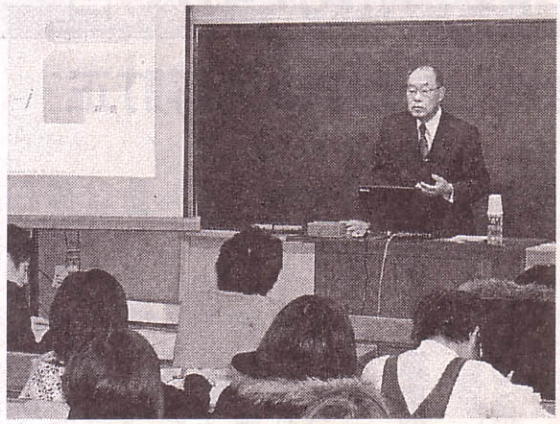
特に、国立大学は〇四年に国立大学法人に移行してからは国からの運営交付金が削減されており、各大学は独自の財源確保や「特色ある大学づくり」に追われている。経営者による講義を取り入れたある国立大学の理事は「かつては企業との接点は少なく、法人化がなければこうした講義が実現したかは疑問」と語る。

◇　◇

経営者による講義は企業と大学に利点があり、学生の就業意識も高まると期待される。ただ、就職を主な目的とする講義に対しては「大学はあくまで学問の場。就職の紹介所ではない」という見方もある。大学は本来の存在意義を保ちつつ、学生の就業意識を高めるという、難題を抱えている。今後は大学だけでなく、高校や中学校でも就業意識を高めていく取り組みをさらに進めていく必要もありそうだ。

（押野真也）

シグナル発見



小売業界について講義するカスミの小浜社長（12日、茨城大学）

経営者による講義の事例

大学名	主な内容
会津大学	地元経営者による起業指導
茨城大学、常磐大学	茨城県経営者協会と連携。カスミや常陽銀行などの経営者が講義
東京大学	アステラス製薬の竹中登一会長が講義
横浜市立大学	オンワードＨＤの馬場彰名誉会長らが講義
諏訪東京理科大学	長野県内の企業経営者が講義
大阪商業大学	中小企業経営者が起業指導
愛媛大学	愛媛県中小企業家同友会と連携。中小企業論などを講義